

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月14日作成)

小委員会名	文化的生態的景観小委員会	主 査 名：不破 正仁 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：神吉紀世子
設 置 期 間	2022年4月 ～ 2026年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>農山漁村のうち、とくに特産品を有する地区の景観構成要素の実態を把握し、生産域とその景観との相関性を考察する。その上で、次世代へ伝える景観資源とはなにかを議論するために、持続可能な生業の仕組みと景観資源の相関性について、「動植物の生息域」「担い手」「ツーリズムなど」の観点から明らかにする。</p> <p>初年度：各地の景観特性を再整理するためのアーカイブを整理する。 2年度：具体の事例採集活動を実施する。 3年度：現地踏査を行い、事例採集を継続する。 4年度：各地の事例を一つにまとめ、研究集会などを活用し、広く周知する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：不破 正仁 (東北工業大学) 幹事：小山 雄資 (鹿児島大学)、山本 幸子 (筑波大学) 委員：牛島 朗 (山口大学)、金子 晋也 (札幌市立大学)、濱 定史 (山形大学)、 青柳 由佳 (東京家政学院大学)、釜床美也子 (香川大学)、姫野由香 (大分大学)、 今村洋一 (椋山女学園大学・2022.8から)	
設置WG (WG名：目的)		
2022年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. コロナ禍におけるフィールドでの活動が制限される中で、オンラインを活用することにより効果的に研究会を企画・実施。 2. 外部資金(トランス・コスモス財団)を獲得し研修費用などを捻出し、フィールド研究会を企画・実施。これらを通して、新たな研究活動・地域活動の場を発見することができた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 研究予算の確保、とくにフィールド研究会開催予算の確保。 2. 研究公開(HP・SNSなどでの発信)については、各委員のSNSで情報公開を実施したが、委員会公式SNSなどの整備はできておらず、継続して小委員会活動を実施する中で検討する必要がある。